



読書活動への扉を開く！

No. 27

桑村小学校令和5年6月16日 文責 渡邊

「読み聞かせ」についてのお薦めの図書を紹介します！

『子どもたちに物語の読み聞かせを』（東京都立多摩図書館編 平成16年）を参考に、「読み聞かせ」についてのお薦めの図書を紹介します。

それは、連作ものです。同じ主人公が活躍する短い話を集めた図書を「連作もの」と参考にした書籍（『子どもたちに物語の読み聞かせを』（東京都立多摩図書館編 平成16年））では呼んでいました。

なぜ「連作もの」がよいのか。それは、毎晩、お話をまるごと一つ楽しめるし、次の日も、同じ主人公が活躍する新しいお話を楽しむことができるからです。また、「もっと読んで」とせがまれたら、「じゃあ、今晚はもう一つだけ」とリクエストに応じてあげることができるからだと言っていました。

では、こういった図書があるかという私も大好きな小学校の国語科教材にある『白いぼうし』が載っている『車の色は空のいろ』（あまんきみこ作 ポプラ社）が紹介されていました。

『車のいろは空のいろ』は、タクシー運転手の松井五郎さんが、ぴかぴかの空のいろのタクシーを走らせると、不思議なお客さんが次々と乗ってくるというお話です。

松井さんの人柄がとても優しく描かれ、読んでいて心が温かくなる図書で、本屋さんに駆け込んで手にした覚えがあります。

その他には次の図書が紹介されていました。

- ◆『あたまをつかった小さなおばあさん』（ホープ・ニューウェル作 松岡享子訳 福音館書店）
 - ◆『長くつ下のぴっぴ』（リンドグレーン作 大塚勇三訳 岩波書店）
 - ◆『ぼくは王さま』（寺村輝夫作 理論社）
- 是非、お子さんと一緒に楽しんでみてくださいね！



【図書室で発見しました】

次に、桑村小学校の学校図書館の配架が素晴らしいので紹介します！



【防災教育に関する図書】



【防災教育に関するリーフレット】



【6月歯の健康に関する図書】

本校の佐藤司書は、季節の行事や学校行事に合わせて配架を工夫しています。図書を立体的に並べたり、コメントを寄せたりすることで子供の図書への関心を高めています。学校にお越しの際は、学校図書館にも寄ってみてください。

お待ちしております！